

品種名	テリハノイバラ Rosa wichuraiana
系統	原種 [Sp]
作出者 (国)	— (日本～台湾)
作出年	—
説明	つる性の品種の祖となったバラ。 本州～沖縄の日当たりの良い草地や河原に生える。 主幹は根から放射状に地面を這い、あまり太くならない。 枝には鉤型の刺があり、側枝は直立して先端に花が咲く。 葉は厚く、円形または広卵形で、縁にはあらい鋸歯がある。 表面は深緑色で光沢があり、裏面は黄緑色になる。 野生のバラの一般的な品種としてはノイバラがあるが、この品種はノイバラに比べてつやが強いこと、 葉が小さく揃っていること、花の数が少なくて一つ一つが大きいことで区別することができる。



